

①経営体の概要

- 所在地:長崎県
- 経営体名:(繁殖牛経営法人)
- 繁殖牛飼養頭数 1,430頭
- 従業員数:家族2人
常勤10人



Farmnote Color

②導入技術・システム(商品名・サービス名と企業名)

- 商品名: Farmnote(クラウド牛群管理システム)
Farmnote Color(発情・疾病兆候検知センサー)
- 企業名:(株)ファームノート

③導入の経緯

繁殖牛の増頭に伴う発情及び疾病の発見遅延による経営リスクの低減と省力化のために導入した。

情報閲覧画面

全飼養牛リスト

④導入に当たり活用した事例があればその事業名(国、県)

なし。

⑤導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

○導入前は、1,400頭以上の繁殖牛を従業員が観察して発情牛等を発見していた。

○導入後は、「Farmnote Color」が牛の行動をデータで採取し、「Farmnote」が、そのデータを解析して発情牛等を発見し、従業員のスマートフォンに知らせてくれるため、多頭飼育でありながら発情等を見逃すことが無く、発見に要する労力も軽減された。

⑥導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

○「Farmnote Color」から「Farmnote」にデータを送信するためのモバイル通信料が高い。

○「Farmnote Color」は、繁殖牛1頭に1台装着することが必要のためコストも大きい。また、故障時の付け替えが大変である。

○顔認証機能を有したカメラを活用して個体管理を行ないながら、発情兆候等を発見する安価なシステムの開発を望んでいる。